

2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 リョーサン菱洋ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 中村 守孝
(コード番号：167A 東証プライム)
問合せ先 執行役員 広報部長 田中 葉子
(TEL：03-3546-5003)

**(開示事項の経過) 当社連結子会社における主要取引先との特約店契約の終了及び
業績予想の公表に関するお知らせ**

当社の連結子会社であるリョーサン菱洋株式会社（以下「当社事業子会社」といい、当社と当社事業子会社を総称して「当社グループ」といいます。）が、ルネサスエレクトロニクス株式会社（以下「ルネサス社」といいます。）との間で締結していた特約店契約（以下「本契約」といいます。）の終了に関して、下記の通りお知らせいたします。

また、これまで「未定」としておりました 2027 年 3 月期の通期連結業績予想の公表について、併せてお知らせいたします。

記

1. 特約店契約の終了

(1) 特約店契約終了の経緯

2026 年 4 月 2 日付「当社連結子会社における主要取引先からの特約店契約終了の申し入れに関するお知らせ」にて公表しましたとおり、ルネサス社より本契約の終了に関する申し入れがありました。

ルネサス社からの申し入れを受け、当社グループは長年にわたり当社事業子会社を通じてルネサス社製品をご愛顧いただいているお客様との調整及びルネサス社との協議を進めるとともに、当社事業子会社としてもお客様の安定的な事業価値の確保などを目的に、本契約終了の差し止め等を求める仮処分の申し立てを東京地方裁判所に行い、手続きを進めてまいりましたが、このたび当社事業子会社とルネサス社との間で和解が成立したことから、2027 年 3 月 31 日付で本契約を終了することとなりました。

当社グループでは、今後、本契約の終了にかかるお客様のご負担を最小限に抑えるべく、順次、お客様のご意向に応じて特約店の移管作業に協力するとともに、引き続き、ルネサス社以外の製品や AI をはじめとするソリューションのご提案・ご提供等を通じて、お客様の課題解決に貢献できるよう努めてまいります。

(2) 取引の内容

取引の種類	ルネサス社製品の売上高 (2026 年 3 月期)	当社の連結売上高に占める割合 (2026 年 3 月期)
ルネサス社製品の 仕入及び販売	78,082 百万円	21.7%

2. 2027 年 3 月期の通期連結業績予想の公表

2026 年 5 月 14 日付「2026 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において「未定」としておりましたが、2027 年 3 月期の通期連結業績予想につきまして、以下の通りお知らせいたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	370,000	12,000	11,000	7,500	187.03
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2026 年 3 月期)	359,948	10,128	8,930	7,440	185.59

2027 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、ルネサス社からの本契約終了の申し入れによる業績への影響を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、当該影響の見通しに加え、第 1 四半期連結累計期間の業績ならびに現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえ算定いたしました。

デバイス事業においては、ルネサス社製品に関する一部ビジネスの終息が見込まれますが、在庫調整局面の緩和に伴う緩やかな市場回復の継続に加え、メモリー半導体の需要拡大を背景に、堅調な推移が見込まれます。また、ソリューション事業においては、一部部材の価格上昇に伴う最終製品価格への影響が懸念されるものの、AI 活用の高度化や業務変革を見据えた企業の IT 関連投資は引き続き旺盛であり、全体として堅調な事業環境が継続するものと見込んでいます。

なお、2027 年 3 月期の配当予想につきましては、期初時点から変更なく、前期から据置きとなる 1 株につき 140 円（中間配当金 70 円、期末配当金 70 円）としております。

また、当社グループでは、2024 年 5 月 13 日付「5 ケ年経営計画の骨子作成に関するお知らせ」等にて、2029 年 3 月期までの 5 ケ年を対象とした中長期的な経営計画を策定・公表しておりましたが、ルネサス社との本契約の終了による影響や経営統合後の振り返り等を再度検証の上、新たな方針を今後改めて公表することを予定しております。

以 上